

令和5年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

## 目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業実績

## 1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、2021年に開催された東京2020パラリンピックや2025年に国内開催が決定したデフリンピック等により高まったスポーツへの関心を、参加することへと繋げていくため、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

## 2 実施事業概要

### (1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するため、県内で活動する各団体の活動への支援や、県障がい者スポーツ大会の開催、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図った。

#### 【実績】

- ① 障がい者団体スポーツ活動支援事業
  - ・ 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 8件
- ② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業
  - ・ 「第61回福島県障がい者スポーツ大会」の開催
  - 開催日：令和5年5月14日（日）、21日（日）
  - 場 所：いわき市（いわき陸上競技場ほか）
  - 参加者：1,307名（うち、選手772名・役員及びボランティア535名）
  - 種 目：陸上、フライングディスク、卓球、サウンドテーブルテニス、水泳、ボッチャ、バスケットボール（知的・車いす）、サッカー、バレーボール、グランドソフトボール、アーチェリー
- ③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業
  - ・ 「特別全国障害者スポーツ大会（鹿児島県）」への選手団派遣
  - 派遣期間：令和5年10月26日（木）～10月31日（火）（5泊6日）
  - 派遣人数：選手58名（個人競技：35名 団体競技：23名）
  - 役員41名（個人競技：37名 団体競技：4名）
- ④ 【新】北海道・東北ブロック予選会開催事業
  - ・ 「特別全国障害者スポーツ大会知的障がい者サッカー競技北海道・東北ブロック予選会」
  - 開催日：令和5年6月17日（土）、18日（日）
  - 場 所：福島市（十六沼運動公園サッカー場）
  - 出場チーム：北海道、岩手県、秋田県、福島県、札幌市、仙台市

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠であることから、地域で活動する指導員等の育成のための講習会の開催や、資格取得のための支援、地域の特色に合わせたマネジメントができる環境整備推進に向け指導者協議会の運営を支援した。

【実績】

- ① 初級指導員養成講習会開催事業
  - ・「令和5年度初級指導員養成講習会」の開催
  - 開催日：令和5年12月3日（日）、12月9日（土）、12月10日（日）
  - 場 所：郡山市障害者福祉センター
  - 受講者：21名
  
- ② 障がい者スポーツ指導員育成支援事業（各種資格取得のための支援）
  - ・パラスポーツトレーナー養成講習会を受講したトレーナー1名に助成
  - ・パラスポーツドクター養成講習会を受講したドクター1名に助成
  
- ③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業  
福島県障がい者スポーツ指導者協議会役員会の開催

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備した。

【実績】

- ① 選手指導者組織育成支援事業  
5名の選手の活動を支援（ボッチャ競技2名、車いすバスケット3名の支援）
- ② 団体競技強化支援事業  
3競技団体（知的バスケットボール、車いすバスケットボール、知的サッカー）の強化活動を支援

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

【実績】

- ① 各種助成事業  
県内の障がい者スポーツを行う団体や個人が全国大会等に出場する場合にその費用の一部を助成
  - ・団体：延べ3団体 個人：延べ5名 に対し助成
  
- ② 運動導入教室開催事業  
障がい者が運動等を始める際に必要な個別の相談、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての助言・指導を行う教室を開催
  - ・令和5年度 全104回、延べ605名参加

- ③ 地域スポーツ教室等開催事業  
県内各方部で開催するスポーツ教室・大会の開催費用を助成
  - ・(教室) 全46回、延べ752名参加
  - ・(大会) 全4回、162名参加
- ④ 種目別スポーツ教室開催事業  
障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催
  - ・令和5年度 10種目 全60回、延べ870名参加
- ⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業  
県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援
  - ・5団体(5大会)の開催費用の一部を助成
- ⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業  
本県にゆかりがあり、本県障がい者スポーツの発展の一翼を担う次世代アスリートを指定し、選手が行う強化活動に要する費用を支援
  - ・11名を「ふくしまネクストアスリート」として指定、うち10名の活動を支援
- ⑦ ふくしまシャイニングスタープロジェクト  
競技団体との日程調整がつかなかったため、実施しなかった。

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、小中学校や総合型地域スポーツクラブを始めとした県内の様々な団体からの要望に応じた出前講座や体験会を実施するとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備した。

さらに、県内で開催されるスポーツイベント等における体験ブースの出展や協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行った。

【実績】

① スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト

ア 出前講座・体験教室の開催

障がい者スポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・公民館・福祉事業所・地域団体等の様々な機関・機会が多様な競技からなる出前講座や体験教室等を実施した。

・実施回数：全88回 参加者数：3,712名

イ 障がい者スポーツ体験イベント等の実施

障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、障がい者スポーツのデモンストレーションの実施及び競技体験ブースを出展した。

・実施回数：全9回 参加者：850名程度

ウ 大学等と連携したサポーター育成講習会の開催

県内の医療関係の大学等と連携し、学生等を対象とした障がい者スポーツに関する講習会を開催した。

・県内の大学等 3回実施 参加者数：60名

エ 特別アドバイザー派遣の実施

障がい者スポーツに取り組んでいる県内の団体や、障がい者が活動しているクラブ等を対象に、各団体の要望に応じた専門的知見を有する特別アドバイザーを派遣した。

・2名のアドバイザーの派遣

オ 障がい者スポーツ用具等の整備・貸出事業

障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、競技用具等について整備・貸出を行った。

・全25件(22団体) ボッチャセット、競技用車いす、卓球バレーセット、タンデム自転車、電動車いす、ゴールボールセット等を貸出した。

カ 東京2025デフリンピックに向けた機運醸成

2025年に東京都を中心に国内初開催され、本県Jヴィレッジでサッカー競技が行われる「東京2025デフリンピック」に向け、県民参加型の体験イベントや地元学校等を対象としたデフサッカー教室の開催、啓発資料の作成等を行った。

・実施回数：全4回 参加者数：97名

② 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

協会広報誌（令和5年度版）の発行

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に出席し情報収集を行うとともに、県内の障がい者スポーツ医等の有識者との情報共有を図った。

① 各種障がい者スポーツに関する情報収集（地域ブロック単位や全国単位の会議等への出席）

② 障がい者スポーツ医学委員会の開催 2回実施（4月10日、12月15日）

・大会帯同 特別全国障害者スポーツ大会 1名のパラスポーツ医  
北海道東北ブロック予選 サッカー競技 パラスポーツトレーナー1名

(7) その他の事業

自治体及び企業等が主催する障がい者を含めた事業に対し、障がい者が安心して参加できるよう、主催者に対し助言・支援を行った。

① チャレンジド・スポーツ支援事業 3名の選手の推薦

(8) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図るため、理事会や

評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業区分別事業実績（詳細）

【公益事業】（1）障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	263,850 円
概要	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がいのある方を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。</p> <p>（1）県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成  <b>【団体活動支援：フォローアップ助成】</b>          助成先：7 団体          助成額：210,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人アダプテッドスポーツいわき（30,000 円）</li> <li>・川俣町身体障がい者福祉会（30,000 円）</li> <li>・喜多方市身体障がい者福祉会（30,000 円）</li> <li>・みんなでスポーツ（30,000 円）</li> <li>・Let`s にしごう（30,000 円）</li> <li>・TEAM まきばの朝（30,000 円）</li> <li>・おのさくらクラブ（30,000 円）</li> </ul> <p>（2）県内新規障がい者スポーツ団体への助成  <b>【新規活動支援：スタートアップ助成】</b>          助成先：1 団体          助成額：50,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島 Dreams（50,000 円）</li> </ul> <p>※決算額には団体への振込手数料含む。</p>		
参考	<p>令和4年度実績</p> <p>県内障がい者競技団体、県内障がい者福祉団体等          県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成          助成先：7 団体 助成額：210,000 円</p> <p>県内新規障がい者スポーツ団体への助成          助成先：2 団体 助成額 100,000 円</p>		



事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	決算額	6,917,952円																																								
概要	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的に大会を開催した。</p> <p>なお、本大会は、特別全国障がい者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとするが、全国大会派遣種目及び選手の決定等については、大会後に開催する選考会をへて、福島県の総合的な判断により決定とした。</p>																																										
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>期日：令和5年5月14日（日）及び21日（日）</p> <p>競技種目・会場は以下のとおり</p> <table border="1" data-bbox="320 860 1378 1556"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">5/14 (日)</td> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>いわき陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>いわき陸上競技場補助競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>内郷コミュニティーセンター</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>福島県点字図書館（福島）</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケットボール競技</td> <td rowspan="2">身体</td> <td rowspan="2">いわきサン・アビリティーズ</td> </tr> <tr> <td>ツインバスケットボール競技</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山アーチェリーレンジ（会津）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5/21 (日)</td> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>JSSいわきスイミングスクール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>いわきサン・アビリティーズ</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>総合体育館</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>新舞子フットボール場</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立視覚支援学校（福島）</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：1,307名（選手772名、役員・ボランティア535名）</p> <p>「特別全国障害者スポーツ大会」選手選考会（書面により実施）</p> <p>期日：令和5年6月第1週</p>			期日	競技種目	障がい種別	会場	5/14 (日)	陸上競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場補助競技場	卓球競技	身体・知的・精神	内郷コミュニティーセンター	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館（福島）	車いすバスケットボール競技	身体	いわきサン・アビリティーズ	ツインバスケットボール競技	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ（会津）	5/21 (日)	水泳競技	身体・知的・精神	JSSいわきスイミングスクール	ボッチャ競技	身体	いわきサン・アビリティーズ	バスケットボール競技	知的	総合体育館	サッカー競技	知的	新舞子フットボール場	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校（福島）
期日	競技種目	障がい種別	会場																																								
5/14 (日)	陸上競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場																																								
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	いわき陸上競技場補助競技場																																								
	卓球競技	身体・知的・精神	内郷コミュニティーセンター																																								
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館（福島）																																								
	車いすバスケットボール競技	身体	いわきサン・アビリティーズ																																								
	ツインバスケットボール競技																																										
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ（会津）																																								
5/21 (日)	水泳競技	身体・知的・精神	JSSいわきスイミングスクール																																								
	ボッチャ競技	身体	いわきサン・アビリティーズ																																								
	バスケットボール競技	知的	総合体育館																																								
	サッカー競技	知的	新舞子フットボール場																																								
	グランドソフトボール競技	身体	福島県立視覚支援学校（福島）																																								
参考	<p>※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>※令和4年度 参加者954名（選手511名、役員・ボランティア443名）</p>																																										

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	18,096,726 円
概要	福島県障がい者スポーツ大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て、本県代表選手を派遣した。		
実績	<p><b>事業実績</b> 「特別全国障害者スポーツ大会」へ福島県選手団を派遣した。</p> <p><b>派遣期間</b>：令和5年10月26日（木）結団式 27日（金）公式練習 28日（土）開会式 29日（日）2日目 30日（月）閉会式 31日（火）帰県（解団式）</p> <p><b>開催場所</b>：鹿児島県</p> <p><b>派遣人数</b>：選手58名（個人競技：35名 団体競技：23名） 役員41名（個人競技：37名 団体競技：4名）</p> <p><b>派遣競技</b>： ○個人競技： 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知・精）、（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）、ボッチャ（身） ○団体競技： 車いすバスケットボール（身） グランドソフトボール（身）</p>		
参考	<p>※第19回（令和元年度）は台風災害、第20回（令和2年度）、第21回（令和3年度）大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ※第22回栃木大会 81名派遣（選手43名、役員38名）</p>		

事業名	④【新】北海道・東北ブロック予選会 開催事業	決算額	637,154 円
概要	全国障害者スポーツ大会予選会である北海道・東北ブロック予選会の一部競技を福島県内で開催する。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p><b>大会名：</b>「特別全国障害者スポーツ大会知的障がい者サッカー競技北海道・東北ブロック予選会」</p> <p><b>期日：</b>令和5年6月17日（土）、18日（日）</p> <p><b>開催場所：</b>十六沼運動公園サッカー場（福島市）</p> <p><b>競技：</b>サッカー競技（知的）</p> <p><b>出場チーム：</b>北海道、岩手県、秋田県、福島県、札幌市、仙台市</p> <p><b>参加人数：</b>153名（選手95名、監督・コーチ等27名、役員・審判員31名）</p>		
参考			

【公益事業】（２）障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級指導員養成講習会開催事業	決算額	529,050 円
概要	障がい者スポーツ指導員を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。		
実績	<p>事業実績</p> <p>期 日：令和５年１２月３日(土)、１２月９日(土)、１０日(日)</p> <p>会 場：郡山市障害者福祉センター</p> <p>受講者：２１名</p> <p>共 催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会</p> <p>後 援：(公財)福島県スポーツ協会、(公財)日本パラ障がい者スポーツ協会</p> <p>講習カリキュラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各障がいの理解 身体障がい編 (県スポーツ課、(一社)日本ボッチャ協会)</li> <li>・各障がいの理解 知的障がい編 (県障がい者スポーツ指導者協議会)</li> <li>・障がいのある人との交流 ( " )</li> <li>・各障がいの理解 精神障がい編 ( " )</li> <li>・全国障害者スポーツ大会の概要 ( " )</li> <li>・障がい者スポーツの意義と理念 ((一社)コ・イノベーション研究所)</li> <li>・コミュニケーションスキルの基礎 ( " )</li> <li>・各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫 ( " )</li> <li>・障がい者スポーツ推進の取り組み (県障がい者スポーツ指導者協議会)</li> <li>・障がい者スポーツに関する諸施策 ( " )</li> <li>・スポーツインテグリティと指導者に求められる資質 (一社)日本ボッチャ協会)</li> <li>・安全管理 (県障がい者スポーツ指導者協議会)</li> </ul>		
参考			

事業名	②障がい者スポーツ指導員育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	125,716 円
概要	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について助成を行った。</p> <p>(1) <b>2名</b>に対し助成</p> <p><b>【対象講習会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 公認パラスポーツトレーナー養成講習会(2次検定)</li> <li>・令和5年度 公認パラスポーツ医養成講習会</li> </ul>		
参考	<p><b>【R3年度実績】</b></p> <p>2名に対し助成 (令和3年度中級・上級障がい者スポーツ指導員育成講習会)</p> <p><b>【R4年度実績】</b></p> <p>1名に対し助成 (公認障がい者スポーツトレーナー養成講習会(1次・2次講習会))</p>		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会 運営事業	決算額	300,550円
概要	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援した。</p>		
実績	<p><b>事業実績</b> 各支部活動費として、助成金（計 300,000 円）を交付。</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会総会の開催（令和5年6月）  (2) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会役員会の開催  2か月に一度程度、役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施  (3) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部（各支部運営委員会）の開催  3か月に一度程度、各支部の開催  ※（1）については書面開催。（2）及び（3）については、オンライン開催</p> <p>(4) 令和5年度東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会4事業部会への指導員派遣  ・令和5年7月24日（日）会場：仙台市  ・1名派遣</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	①選手指導者組織育成支援事業	決算額	0円
概要	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い競技環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援（2名）  遠藤 裕美 令和4年4月～  長谷川 岳 令和5年4月～</li> <li>・車いすバスケットボール競技選手の競技環境整備支援（3名）  運動導入教室参加者の内、車いすバスケットボール競技への競技移行を希望した、選手に対して、競技環境の整備を行った。  アスリート奨励金の推薦  渡邊 健、宍戸 凌、佐久間 昂</li> </ul>		
参考	<p>自主事業 過去の支援実績</p> <p>平成 8年：知的障害者バスケットボール普及  平成 8年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始  平成 9年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成）  平成12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立  平成16年：車椅子バスケットボール日本代表育成  平成21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援  平成23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援  平成25年：水泳選手育成支援  平成27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング作成  平成28年：パラバドミントン選手支援  平成30年：ボッチャ選手育成支援  令和元～3年：ウィルチェアーラグビー選手強化練習支援  令和4年度：ボッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援</p>		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	878,955 円
概要	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>福島県代表団体競技チームが、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等に出場する場合等に必要な経費を支援した。</p> <p>○対象団体競技種目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットボール（知的）</li> <li>・車いすバスケットボール（身体）</li> <li>・サッカー（知的）</li> </ul>		
参考	<p>令和4年第22回全国障害者スポーツ大会栃木大会ブロック予選 車いすバスケットボール優勝</p> <p>令和5年特別全国障害者スポーツ大会鹿児島大会ブロック予選 車いすバスケットボール、グランドソフトボール優勝</p>		



【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	101,320 円
概要	全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行った。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>（１）全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場した個人及び団体に対し、経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人競技 延べ5名（東北大会・全国大会）</li> <li>・団体競技 延べ3団体（東北大会・全国大会）</li> </ul>		
参考	<p>自主事業</p> <p>※令和4年度：個人競技延べ2名、団体競技延べ6団体に助成</p>		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	2,208,060 円
概要	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等を始める機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行った。		
実績	<p><b>事業概要</b></p> <p>障がい者が日常的に運動・スポーツに接する機会を提供するため、障がい者が運動等を始める際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導、競技体験等を年度通じて県内2会場で定期的に行った。</p> <p>(1) 実施期日  令和5年4月2日～令和6年3月29日  郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日開催  福島会場：毎月2～4回開催</p> <p>(2) 実施回数  全104回実施（郡山会場：62回、福島会場：42回）</p> <p>(3) 実施場所  郡山会場：郡山市障害者福祉センター  福島会場：福島トヨタクラウンアリーナ</p> <p>(4) 参加者数  延べ605名参加（郡山会場：292名、福島会場：313名）</p>		
参考	<p><b>【R4年度実績】</b></p> <p>■実施回数  全97回実施（郡山会場：61回、福島会場：36回）</p> <p>■参加者数  延393名参加（郡山会場：237名、福島会場：156名）</p>		

事業名	③地域スポーツ教室等開催事業	決算額	741,303 円
概要	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進した。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>障がい者スポーツ指導者協議会のうち4支部が開催する、地域スポーツ教室及びスポーツ大会の開催費用等を支援した。</p> <p>○県北支部  スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ153名）  スポーツ大会：1回</p> <p>○県中支部  スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ114名）  スポーツ大会：1回開催（参加者：32名）</p> <p>○会津支部  スポーツ教室：13回開催（参加者：延べ180名）  スポーツ大会：1回開催（参加者：52名）</p> <p>○いわき支部  スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ305名）  スポーツ大会：1回開催（参加者：33名）</p> <p><b>【合計】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室 46回開催、延べ752名参加</li> <li>・大会 4回開催、162名参加</li> </ul>		
参考	<p>※令和4年度実績</p> <p><b>【合計】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室 46回開催、延べ540名参加</li> <li>・大会 3回開催、97名参加</li> </ul>		

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	1,694,144 円																																												
概要	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催した。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組んだ。																																														
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を年間を通じて開催した。</p> <p>(1) 実施期日 令和5年4月～令和6年2月</p> <p>(2) 実施競技種目【10種目】</p> <table border="0" data-bbox="351 918 1101 1321"> <tr><td>・陸上</td><td>全</td><td>9回</td><td>延べ136名参加</td></tr> <tr><td>・フライングディスク</td><td>全</td><td>10回</td><td>延べ219名参加</td></tr> <tr><td>・アーチェリー</td><td>全</td><td>1回</td><td>延べ 1名参加</td></tr> <tr><td>・卓球</td><td>全</td><td>4回</td><td>延べ 16名参加</td></tr> <tr><td>・サウンドテーブルテニス</td><td>全</td><td>4回</td><td>延べ 4名参加</td></tr> <tr><td>・水泳</td><td>全</td><td>4回</td><td>延べ 7名参加</td></tr> <tr><td>・ボッチャ</td><td>全</td><td>11回</td><td>延べ175名参加</td></tr> <tr><td>・サッカー</td><td>全</td><td>10回</td><td>延べ254名参加</td></tr> <tr><td>・車いすバスケットボール</td><td>全</td><td>3回</td><td>延べ 18名参加</td></tr> <tr><td>・グランドソフトボール</td><td>全</td><td>4回</td><td>延べ 40名参加</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: right;">合 計</td><td><b>全60回 延べ870名参加</b></td></tr> </table>			・陸上	全	9回	延べ136名参加	・フライングディスク	全	10回	延べ219名参加	・アーチェリー	全	1回	延べ 1名参加	・卓球	全	4回	延べ 16名参加	・サウンドテーブルテニス	全	4回	延べ 4名参加	・水泳	全	4回	延べ 7名参加	・ボッチャ	全	11回	延べ175名参加	・サッカー	全	10回	延べ254名参加	・車いすバスケットボール	全	3回	延べ 18名参加	・グランドソフトボール	全	4回	延べ 40名参加	合 計			<b>全60回 延べ870名参加</b>
・陸上	全	9回	延べ136名参加																																												
・フライングディスク	全	10回	延べ219名参加																																												
・アーチェリー	全	1回	延べ 1名参加																																												
・卓球	全	4回	延べ 16名参加																																												
・サウンドテーブルテニス	全	4回	延べ 4名参加																																												
・水泳	全	4回	延べ 7名参加																																												
・ボッチャ	全	11回	延べ175名参加																																												
・サッカー	全	10回	延べ254名参加																																												
・車いすバスケットボール	全	3回	延べ 18名参加																																												
・グランドソフトボール	全	4回	延べ 40名参加																																												
合 計			<b>全60回 延べ870名参加</b>																																												
参考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度実績：5種目実施（全32回、延べ540名参加）</li> <li>・令和4年度実績：9種目実施（全62回、延べ759名参加）</li> </ul>																																														

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	913,490 円
概要	県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援した。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成した。</p> <p>■助成大会 5大会（5競技）</p> <p>①【バスケットボール】 2023FID ジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会 [第26回] 開催期日：令和5年8月26日（土）～27日（日）参加者 316名</p> <p>②【陸上】2023北海道・東北パラ陸上競技大会 開催期日：令和5年9月16日（土）～17日（日）参加者 240名</p> <p>③【FD】第24回福島県障がい者フライングディスク大会 開催期日：令和5年9月17日（日）参加者 108名</p> <p>④【ボッチャ】第13回福島県ボッチャ選手権大会 開催期日：令和6年2月12日（日）参加者 28名</p> <p>⑤【サッカー】第17回SFIDA-CUP 開催期日：令和6年3月9日（土）参加者 74名</p>		
参考	<p>【令和4年度実績】</p> <p>4大会（4競技団体）に対し助成</p>		

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	決算額	1,096,604円
概要	<p>今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援した。</p>		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○指定アスリート：11名（うち、助成実績10名）</p>		
参考	<p>※令和3年度 指定アスリート 20名</p> <p>※令和4年度 指定アスリート 20名</p>		

事業名	⑦ふくしまシャイニングスタープロジェクト	決算額	0円
概要	<p>本格的なスポーツ活動には至っていない障がいのある方へアプローチし、競技体験を合わせた基礎的な運動能力等の測定会を開催することで、潜在的な能力を持つアスリートを発掘するとともに、障がい特性や興味・関心に応じた競技への参画を促す計画であったが、競技団体等の日程の調整がつかなかったため、実施しなかった。</p>		
実績	<p><b>事業実績</b> なし</p>		
参考			

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト	決算額	13,299,329 円
概要	<p>スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒に障がい者スポーツに親しみ、理解を深めてもらうことが重要であるため、出前講座や体験会を実施し、併せて、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備した。</p>		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p><b>【魅力発信】</b></p> <p><u>(1) 出前講座・体験教室の開催</u></p> <p>障がい者スポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・公民館・福祉事業所・地域団体等の様々な機関・機会が多様な競技からなる出前講座や体験教室等を実施した。</p> <p>○実施回数：全 88 回</p> <p>○参加者数：3,712 名</p> <p>○体験競技：ボッチャ、車いすバスケ、シッティングバレー、ゴールボール等</p> <p>○講師：村上光輝氏（東京2020パラリンピックボッチャ代表監督） 豊島英氏（東京2020パラリンピック男子車いすバスケ代表主将） ほか</p> <p><u>(2) 障がい者スポーツ体験イベント等の実施</u></p> <p>障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、障がい者スポーツのデモンストレーションの実施及び競技体験ブースを出展した。</p> <p>○実施回数：全 9 回（ふくしま浜通り復興スポーツフェス、福島ユナイテッド FC・いわき FC・福島ファイヤーボンズ公式戦ほか）</p> <p>○体験競技：ボッチャ、車いすバスケ、ブラインドサッカーなど</p> <p>○参加者：850 名程度</p> <p><b>【環境整備】</b></p> <p><u>(1) 大学等と連携したサポーター育成講習会の開催</u></p> <p>県内の医療関係の大学等と連携し、学生等を対象とした障がい者スポーツに関する講習会を開催した。</p> <p>○県内の大学等 3 回実施 受講者 60 名 医療創生大学、福島県立医科大学、郡山健康科学専門学校</p> <p><u>(2) 特別アドバイザー派遣の実施</u></p> <p>障がい者スポーツに取り組んでいる県内の団体や、障がい者が活動しているクラブ等を対象に、各団体の要望に応じた専門的知見を有する特別アドバイザーを派遣した。</p>		



○2名のアドバイザーの派遣

(3) 障がい者スポーツ用具等の整備・貸出事業

障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、専用用具について整備・貸出を行った。

○全25件(22団体)

ポッチャセット、競技用車いす(一部新規購入)、卓球バレーセット、タンデム自転車、電動車いす、ゴールボールセット 等

**【東京2025デフリンピックに向けた機運醸成】**

2025年に東京都を中心に国内初開催され、本県Jヴィレッジでサッカー競技が行われる「東京2025デフリンピック」に向け、県民参加型の体験イベントや地元学校等を対象としたデフサッカー教室の開催、啓発資料の作成等を通じ県内の機運醸成に取り組んだ。

(1) 大会2年前イベントの開催

○実施回数：全1回(デフリンピックフェスティバル)

○参加者数：32名

○体験競技：デフサッカー、ブラインドサッカー

○講師等：いわきFC選手、日本ろう者サッカー協会、日本ブラインドサッカー協会

(2) デフサッカー体験教室等の開催

○実施回数：全3回(中学校、特別支援学校)

○参加者数：65名

○講師等：日本ろう者サッカー協会、Jヴィレッジ、県聴覚障害者協会

(3) PRブースの出展

○実施回数：全7回(日米対抗ソフトボール2023、ふくしまフェスタ in ラゾーナ川崎プラザほか)

参  
考

事業名	②協会広報誌の発行及び 障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	315,865 円
概要	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
実績	<b>事業実績</b> 広報紙の発行 令和5年度の活動状況等について報告・周知するため作成（1,500部）、関係機関や賛助会員等へ広く配付した。		
参考	自主事業		

【公益事業】（６）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	①各種障がい者スポーツに関する情報収集 障がい者スポーツ医学委員会の開催	決算額	0円
概要	各種会議、講習会等に参加し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図った。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>①各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5年度パラスポーツ東北ブロック連絡協議会 開催日：令和5年8月2日（水） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名</li> <li>・ 令和5年度JPSPA4協議会合同会議 開催日：令和6年3月8日（金） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 オンライン参加</li> <li>・ R5年度東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会 開催日：令和5年4月22日（土） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名</li> <li>・ Jスタープロジェクト 秋田会場 開催日：令和5年7月30日（日） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名</li> </ul> <p>②障がい者スポーツ医学委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第60回福島県障がい者スポーツ大会 令和5年5月21日（日）パラスポーツ医1名派遣</li> <li>・ 特別全国障害者スポーツ大会知的障がい者サッカー競技北海道・東北ブロック予選会 令和5年6月17日（土）パラスポーツトレーナー1名派遣 令和5年6月18日（日）パラスポーツ医1名派遣</li> <li>・ 特別全国障害者スポーツ大会 鹿児島大会 令和5年10月26日（木）～31日（火）パラスポーツ医1名派遣</li> <li>・ 令和5年度福島県障がい者スポーツ医科学委員会の開催 開催日：令和5年4月10日（月）18時30分～ オンライン開催 開催費：令和5年12月18日（月）18時30分～ オンライン開催</li> </ul>		

参考	自主事業
----	------

【公益事業】（7）その他の事業

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	0円
概要	企業が東日本大震災復興支援を目的として実施する事業に協力とともに、企業からの奨励金（補助金）を活用した事業を展開する。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>なし</p> <p>東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>サントリーチャレンジド・アスリート奨励金※を活用した事業の実施を予定していたが、関係者との調整がつかなかったため、実施しなかった。</p>		
参考	<p>※東北サンさんプロジェクト</p> <p>サントリーグループが、「漁業支援」「子ども支援」「チャレンジド・スポーツ支援」「文化・芸術・スポーツ支援」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野での支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	963,701 円
概要	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料、法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
実績	<p><b>事業実績</b></p> <p>●会議の開催</p> <p>※（１）理事会のうち ア 及び（２）評議員会は、いずれも議決書略（書面開催）とした。</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 臨時理事会 令和５年４月２８日（金） 事務局長の選任について</p> <p>イ 第１回理事会 令和５年６月１２日（月） 令和４年度事業報告・収支決算について他</p> <p>ウ 第２回理事会 令和６年３月７日（木） 令和６年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第１回評議員会 令和５年６月３０日（金） 令和４年度事業報告・収支決算について他</p> <p>イ 第２回評議員会 令和６年３月２７日（水） 令和６年度事業計画・収支予算について他</p> <p>（３）監事監査</p> <p>令和５年６月１日（木） 令和４年度事業実績・収支決算について</p> <p>●財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。</p> <p>当年度の実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R４年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和５年５月１８日（木）</li> </ul> <p>※この他、疑義事項等について、適宜電話やメール等で相談、助言等を受けた。</p>		
参考			

## 事業報告書の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。